

平成 3 0 年 度

財政援助団体等に対する監査結果報告書

高砂市監査委員

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等に対する監査

第2 監査の実施期日及び監査の対象

監査実施日 令和元年11月29日

監査の対象 一般社団法人高砂市観光交流ビューロー（補助金交付団体）

第3 監査の範囲

平成30年度における高砂市から交付しているふるさと創生組織・構築推進事業のビューロー運営事業等補助金の出納その他の事務の執行について監査を行ったが、収支決算報告書、損益計算書及び収益・非収益別計算書等では、この補助金以外の収入、支出項目も合算されて上がっており、関連ある場合はその他の項目についても確認を行った。

第4 監査の方法

今回の監査は、主に、予算の執行、収入、支出、契約等の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているか、また所管の事務の執行が合理的かつ効率的に行われているか、法令等の定めるところに従って適正に行われているかなどを主眼とし、次のとおり実施した。

対象団体の経営状況に関する資料（事業報告書、収支決算報告書等）について、関係職員から説明を聴取し、質疑を行い、財務関係資料、関係帳簿及び証拠書類等の関係書類の検査を行った。

第5 監査の結果

この補助金は、ふるさと高砂市の持つ歴史、町並み、芸術・文化等を生かした魅力創出活性化事業並びに高砂市をPRするための各種プロモーション事業などの実施を目的とする一般社団法人高砂市観光交流ビューローの運営等を行うことを目的として交付を受けたものである。

監査の結果、一部において検討すべき事項が見受けられたが、予算の執行、収入、支出等についてはおおむね良好に処理がされていると認められた。監査時に気づいた事項についてはその都度口頭で指示したところである。

一般社団法人高砂市観光交流ビューローは、平成29年9月に高砂市観光協会と各誘客団体を支援するための事務局である高砂観光交流ビューローがひとつとなり「高砂市観光交流ビューロー」として発足し、同年10月5日から一般社団法人として各種誘客団体の支援と共に観光誘客事業を実施している。

主な事業としては、ビューロー全体の管理（人件費含む）を行う事務局運営事業、高砂市のPRやポスターや観光情報誌を配布するシティセールス事業、誘客を促進する事業及び歴史・文化・景観を市内外に発信する事業に対して支援（たかさご万灯祭、ナ

イトファンタジーイリュージョン、高砂観月能の3事業)・協賛(18事業)を行う誘客推進事業、観光ガイドの育成・活用や案内所の運営、マップ作成を行う利便性向上事業、観光情報誌「観詰」を発行・配布する結びのまち推進事業、ジャパンフィルムコミッションに加入しロケ地フェアに参加・PRを行うロケ誘致促進事業及び物産品のPRやグッズの企画・制作・販売を行う物産品事業があり、様々な誘客促進・観光推進事業を展開している。事務局運営事業における組織、人員として、理事12名、監事2名で理事会を構成し、事務局長1名、事務員3名及びパート職員等を配置している。

高砂市からの委託を受け、ふるさと寄附金記念品発送等事業や工楽松右衛門旧宅管理業務なども行っている。

収支決算報告書の各項目について、財務関係資料、関係帳簿及び証拠書類等の確認を行ったが、おおむね適正に整理されていた。以下の点については、当日確認できなかった書類もあったので関連する書類については日頃から管理し整理されたい。

貸借対照表において平成31年3月31日現在での現金は1,129,628円であった。この時点での現金の金種表は作成しているはずであり保存されたい。

期末商品棚卸高は2,124,673円であったが、商品内訳について実地棚卸表で確認ができなかったため、書類の整理に努められたい。

勘定科目内訳書の未払金8,000,000円については中島邸改修費の相手方として中島氏以外の方が記載されていた。受取の委任状が見当たらなかったため根拠を明示されたい。

収益・非収益別計算表において、非収益部門は収入42,904,537円に対し、費用35,273,602円であり、7,630,935円の黒字であり、収益部門は収入2,604,329円に対し、費用5,836,563円であり、3,232,234円の赤字である。収益部門を増やして非収益部門にその黒字を充てていくことができるように、まず、収益増の方策を検討されたい。

また、これを見る限り、収益部門の赤字を非収益部門の黒字で補っている形になっており、市の補助金が収益部門の赤字に流れているようにも思えるので、ふるさと納税の事務手数料や支援金・協賛金などは収益部門に組替えするなど収益部門と非収益部門全体の見直しをされたい。

ふるさと寄附金記念品発送等事業委託として、高砂市の契約金額・支出済額は25,909,288円であり、収支決算報告書と合致していないので記念品調達費企業支払分について精査されたい。

今回の補助金の交付申請理由や事業目的にもあるように高砂市の歴史、町並み、芸術・文化・自然・産業など高砂市の魅力を多方面に周知され、誘客促進を行い地域の活性化、居住促進の推進に努力をされ、高砂市の発展により一層寄与されることを要望します。